

令和 5 年度
国有林モニターアンケート調査結果



デジタル森林紀行より戸隠植物園散策路

令和 6 年 3 月
中部森林管理局

はじめに

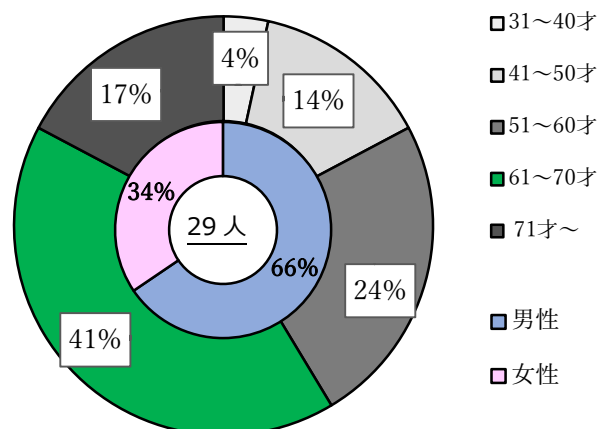
国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「国民の森林」としてふさわしい国有林野の管理を行うことを目的としています。

令和4年度から2年の任期でお願いしました国有林モニターの皆様29名に国有林モニターアンケートを実施し、全モニターから回答をいただきましたので、その結果について取りまとめました。なお、自由記述の理由、意見につきましては、一部整理をして掲載しております。

◎国有林モニターの構成

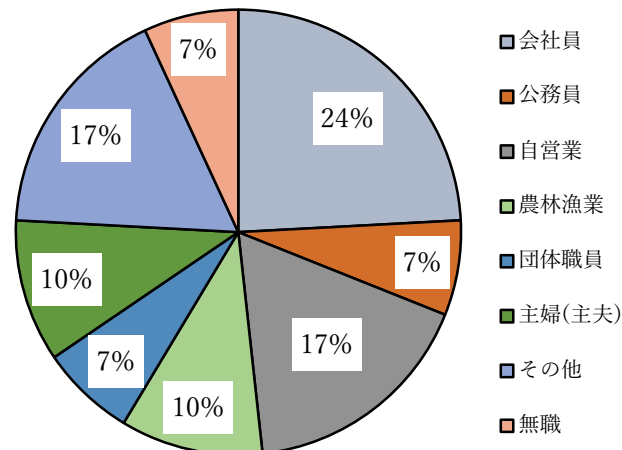
(1) 性別・年齢構成

	男性	女性
31～40才	0人	1人
41～50才	2人	2人
51～60才	3人	4人
61～70才	10人	2人
71才～	4人	1人
計	19人	10人



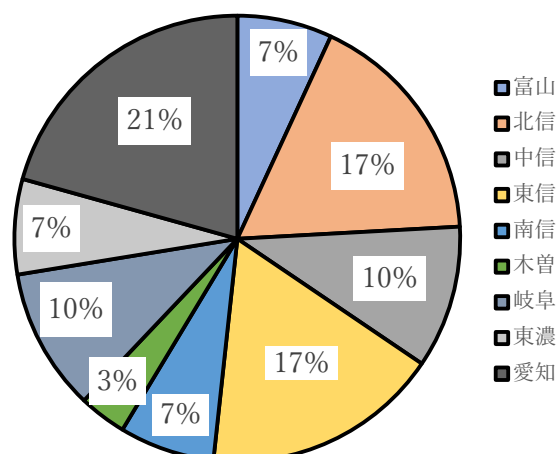
(2) 職業

会社員	7人
公務員	2人
自営業	5人
農林漁業	3人
団体職員	2人
主婦(主夫)	3人
その他	5人
無職	2人



(3) 森林管理署別

富山	2人
北信	5人
中信	3人
東信	5人
南信	2人
木曾	1人
飛騨	0人
岐阜	3人
東濃	2人
愛知	6人



まとめ

1 令和4・5年度モニター活動について

(1) 毎月の情報提供について

お送りした資料について、「非常に満足」の方が11名、「満足」の方が15名であることがわかりました。その理由として、「森林・林業に関する知識が得られたから」、「国有林の取組について知識が得られたから」、「中部森林管理局の取組について知ることができたから」に多くの回答が寄せられました。

また、ほぼ全員の国有林モニターの方から、お送りした資料によって、森林・林業や国有林への理解が深まったという回答をいただきました。

今後も、森林・林業や国有林への知識が得られると感じてもらえるような、情報を提供してまいります。

(2) 2年間の国有林モニター活動について

2年間の国有林モニター活動については、「非常に満足」の方が7名、「満足」の方が14名、「ふつう」の方が3名、「不満」の方が5名であることがわかりました。また、現地説明会に関するご意見やご感想を多数寄せられ、現地説明会への関心が高いことがわかりました。

引き続き、モニターの方に国有林の現地に来ていただき、国有林野事業への理解を深めていただくと同時に、幅広いご意見等をいただくことで、管理経営に役立ててまいります。

2 アンケート全体を通じて

今回のアンケートを通じて、毎月の情報提供でお送りしていた資料について、高い満足度を得られたことがわかりました。引き続き、関心が得られるような情報提供をしてまいります。また、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、現地説明会を開催することができたことにより、モニター活動への満足度が高い傾向となりました。

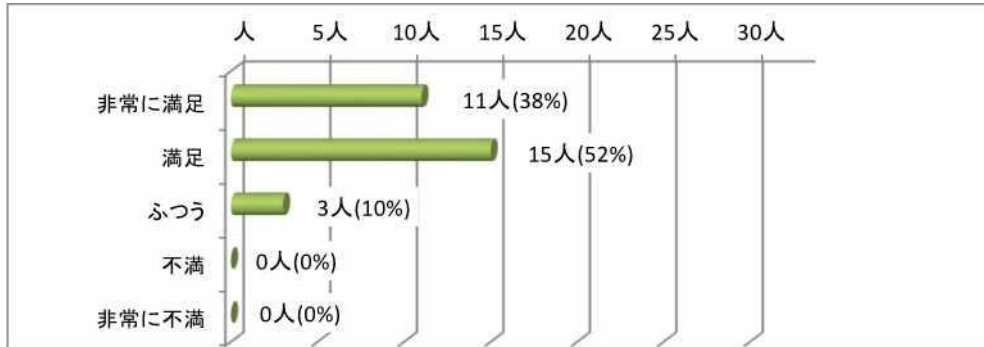
そのほか、中部森林管理局の取組や広報活動についても幅広く建設的なご意見をいただきました。

いただいた貴重なご意見、ご助言を参考にしながら、国有林野事業を「国民の森林」としてよりふさわしいものとするべく、取組を進めてまいります。

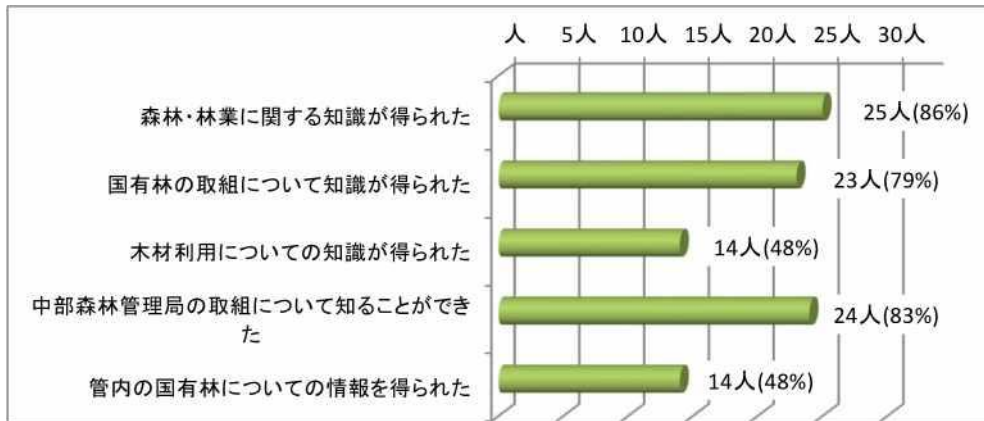
1 令和4・5年度モニター活動について

(1) 毎月の情報提供について

①お送りした資料への満足度をお聞かせください。



その理由をお聞かせください。(複数回答可)



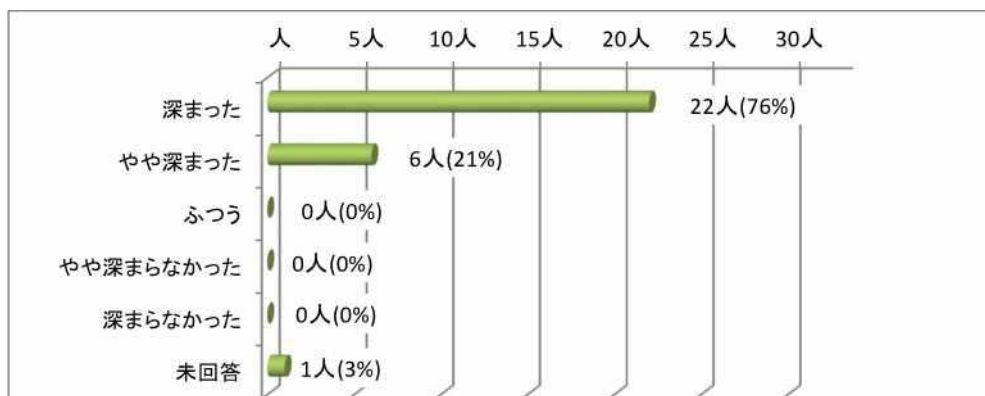
② お送りした資料についてご意見・ご感想があればご記入ください。

- お送りいただいた資料をとおして、中部森林管理局管内において森林保全のためにどのような活動が行われているのかを知ることができました。また、理解しやすいように漫画を使って解説など工夫を凝らしていると思いました。国有林のお散歩マップをいただいた時は、次はどこへ行こうかと思っていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行で、あまり行けなかったのが残念なところです。森林保全に関する鳥獣被害の対応と活用や生息する野生生物についての記事、それに木の文化や産業についての記事がもう少しあればと思いました。
- 情報提供される報告や資料は専門性が高いが、実情や実態を知る上では必要なものと感じた。
- 「中部の森林」は、身近な場所の取組を知ることができ、親しみが持てた。特に、「中部の保護林」「森林官からの便り」「今は昔の林業」は、シリーズになっていて、興味関心を持って読むことができた。
- 森の植物や鳥のことなどの情報もあって、たのしく拝見していました。毎回カラーで美しかったです。いずれも目を通すようにしていました。特に若い後継者たちの記事に接すると、将来への不安も少しやわらぎました。今後とも、この方々の様子を伝える内

容が広報されるとよいと思います。

- 林野庁広報誌「林野」ならびに中部森林管理局広報誌「中部の森」を毎月お送りいただいたことに感謝いたしております。施策の動向、国有林での活動を良く理解することができました。いろいろなものを、その都度見えています。
- 動画で、配信しているものは、QRコードなどを資料につけて欲しい。
- 花粉対策、木質パレットなど都度トピックスでいろいろと学ぶことができました。森林は100年単位で考えるべきものであるため、長期的視野を持てる人でないと、国土を壊してしまいます。これからもしっかり守っていただき、緑豊かな日本を未来永劫大切に残していただきたいと拝見して強く思いました。
- 写真がきれいで読みやすいです。「中部の森林」と「林野」毎号楽しみです。読むと知らないことばかりでした。「ミス日本みどりの大使」の存在も知りませんでした。「林野」の「みどりの大使が行く！」ステキな写真がいっぱいでした。
- 今まで知らなかった国有林の事業など、送られて来る広報誌で大変参考になりました。手作りしている感がとても好感が持てた。
- 写真がきれいで、見とれました。「人 to 木」のイラストもわかりやすく楽しめました。また国有林を通していろいろな人とのかかわりあいがあるということも知りました。
- 丁寧に、見やすく、解りやすく、知らないことばかりでしたが、国有林について、理解できました。自然を守って、ずっとずっと大切にしていきたいと、強く思います。

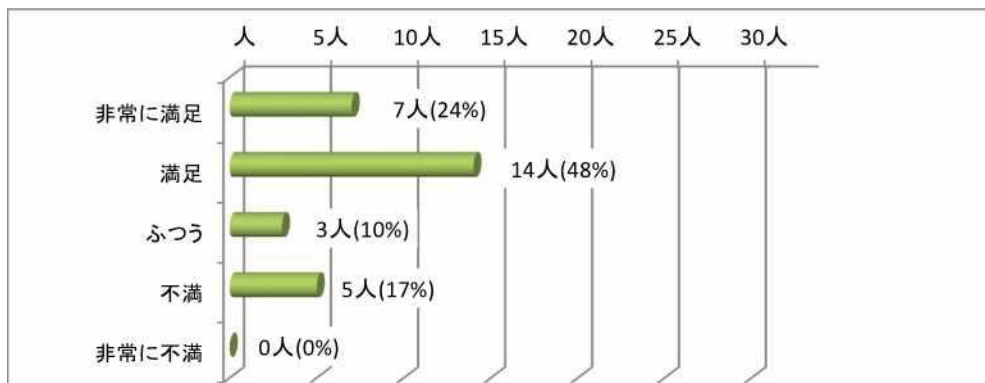
- ③ お送りした資料によって、森林・林業や国有林への理解は深まりましたか。よろしければその理由をご記入ください。



- 森林を取り巻く課題や状況は厳しいものと感じた。
- 林野 N0202 での、特集「花粉の少ない森林づくりに向けて」は、花粉発生の時期にあっていて、何とかならないかと思っている人も多いと思います。そうした中で、国としてもその対策に取り組んでいることを発信されたのは良かったと思います。(他の号でも花粉対策の取組が見られた)
- 「国有林おさんぽ MAP」は、行ってみようかなという思いを持てた。
- 国有林ひとつとっても、様々な役割があることを知ることが出来ました(自分が良く探鳥地として訪れる戸隠などもその1つであった)。国有林 MAP を活用して、もっと他の地域にも訪れてみたいです。そして、そういった機会(国有林ツアー)があったら参加したいです。参加費 有料→「一部を森への寄付とする」みたいなものがあれば…。

- 子が苗木生産者になりました。林業のことを私は知らなかったので勉強になりました。
- 4年間モニターを務めさせていただき、お送りいただいた資料には必ず目を通させていただきました。知らぬ間に、山の方を見ると、林業、国有林のことが頭に浮かんでくる自分に気が付きました。農業とともに、重要なテーマだと感ずるようになりました。
- 林業の歴史や最新の技術導入について知ることが出来た。
- 森林行政は地味な仕事ですが、国土を守るという意味では大きな責務を担っています。インフラのひとつとしてお金をかけて守っていくべきものだと意識を新たにできました。
- 「中部の森」を通して毎月いろいろな行事があることや、現場で働くいろいろな人たちの紹介があり、理解が深まったと思います。
- 国有林は奥山にあり、森林の育成と治水に関わっている程度の認識でしたが、送っていただいた資料から、森林維持のための努力を知ることができました。

(2) 2年間の国有林モニター活動はいかがでしたか。その理由をお聞かせください。



- 毎月、たくさんの資料を送っていただきありがとうございます。印象として意見を言える機会が少なくなったと感じています。また、地元富山県の森林について、もう少し知ることができればと思っていました。その点が不満にした理由です。
- 森林に関するいろいろな状況については、地球規模の大きなテーマでもあるが、個人レベルでは私たちの生活や行動の変化が直接・間接的に影響を及ぼしていると感じている。そうした事柄を示すかのように森林環境の実態を知ることが出来た。
- 月刊情報誌「林野」と広報「中部の森林」を毎月楽しみに拝見しました。ホシガラスは松ボックリをもらい、ハイマツは子孫の拡散にて共生していたり、農家や森林が水分を欲しているときに、キノコの菌糸のネットワークにより胞子を飛ばして雨を促すことなど、もっと気候と動植物の生態の記事が欲しい。
- 2回の現地での研修はあったものの、送付される資料中心のモニターだったので、物足りなさを感じました。
- 普通の暮らしの中では届かない情報を知れたり、国有林モニターでなければ、入山することのできない場所に足をふみ入れることができたりと貴重な体験のできた2年間でした。ありがとうございました。
- 現地視察には行けなく残念でしたが、資料やメールが充実していて良かったです。

- 見字や説明が中心で質問も限られていて一方的である。体験型、ワークショップ形式にしてほしい。
- もう少し現地視察や林業体験が出来れば良かった。
- 山登りが好きなので、少しでも山や森の情報にアクセスできたため、普通に生活していると得られないコアな情報を毎月展開頂けたこと、現地説明会への参加など楽しかったです。
- 冊子が送られてきて、それを見るだけであったのが残念です。このようなアンケートが3カ月に1回程あっても良いのでは。
- 「中部の森林」と「林野」は楽しみでした。写真もきれいですばらしい、読みやすいです。「カレンダー」写真がすばらしいです。
- 新型コロナ等もあり、現地に行けなかったが、細かい資料を紙ベースで頂くことが出来たから。
- 新しい知識が得られた。森林管理局の皆さんとの質疑応答や他のモニターの方々の考えなどを聞く機会がもう少しあれば良かった。
- 普段では行けないような治山ダムの現場や森林づくりのことや木曾ヒノキのことなど現地で説明してくださって、わかりやすかったです。

(3) 任期中、現地説明会を2回開催しましたが、ご意見、ご感想やご要望がありましたらご記入ください。

- 現地説明会は、1度しか参加できませんでしたが、生で崖での作業の様子をみることで、印刷物では伝わらない苦勞を感じることができました。また、ヒノキの美林や伊勢神宮に収められる巨木など魅力的なものばかりで、現地説明会は今後も続けるべきだと思います。
- 現場漫画は、子どもから大人にも林業の実情を広宣する資料としてもっと活用すべきではと思う。とりわけ子供たちにも分かり易くそして楽しく林業を知ってもらうには最適と思う。教育資料として配布したらいいと思う。
- 令和4年の木曾森林署管内の現地説明会に参加しました。赤沢自然体養林の見学が特に印象深いものでした。令和5年の見学会は不参加となってしまいました。11月下旬の開催時期はもう少し早いほうが良いと思います。
- 日程が合わず1回しか参加できず残念でした。しかし、参加できたときは、工事現場の大変さを実感でき、有意義な時間を過ごすことができました。工事を入札しようとしても現場の大変さもあり、不落になってしまうこともあるようで、それだけに実際に携わっている皆さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。モニター同士で感想等を話す場面があると、皆さんがどんなことを感じたか知ることができ、見方を広げられたのではないかと思います。
- 1回目の現地説明会には参加出来ず残念だったが、2回目は参加出来良かった。
- 1回目は行けましたが2回目は行けませんでした。スケジュールがあいませんでした。2カ月前に知らせていただき良かったです。
- 現地説明会(視察)については、初年度目だけした参加できなかったが、



お陰さまで赤沢自然休養林を訪れる機会を得て、とても幸せでした。また、せり売りの現場を見させていただき、さらに木曾町庁舎などの見学もとても有益でした。

- 時期的に、参加するのが難しかったが、木曾五木等勉強出来て良かった。
- 参加してとても良かったです。資料や紙面からの情報を一人で理解するのは難しい。現地現物、実際にご説明頂けたのはとてもいい経験になりました。視察、というと少し形式ばりますが、木で何か作るとか森林での遊び?など楽しむ要素(アイテム)があってもいいのかなと思いました。
- 大変すばらしい所に行かせていただき、モニターをしなければできない経験をさせていただき貴重な体験をありがとうございました。写真、大事にとってあります。宝物です。
- 実際に現地を見ることで、抽象的ですが、実感することができた。現場の空気が味わえた。
- 年1回の現地説明会で、2年で2地区は少なく感じました。多くの現地を知りたかったです。
- 2回とも楽しめました。いろいろな企画をしてくださっていて毎回新しい発見がありました。
- 5年度、雨が降ってきたので最悪だった。また、退避せずに雨の中、ずっと話が続けられたのでありえんと思いました。雨や雪の時の対応をもっと考えて欲しい。
- 現地へ行くのは、遠いこともあり、大変ですが、今後もぜひ、続けてほしいです。

(4) この2年間のモニターとしての活動の中で一番記憶に残っているものや、どんな分野の情報に触れてみたいか等、ご自由にご記入ください。

- 国有林モニターに対して、国有林の良さを知ってもらおう現地説明を多く取り入れて頂くとうれしいと思います。
- やはり現地視察会での体験が一番記憶に残っています。また、フォトコンテストでのそれぞれの現場で働く方々の表情や様子もとても印象に残っています。とても良い企画なので、毎年、行うことが良いと思います。
- 林業の現場、間伐や枝打ち、自動化の現場。
- 国有林が、意外に近所だったこと。カレンダーの写真が素敵で。初めて頂いた時は写真だけ切り取ってしばらくの間保管していました。
- 赤沢の国有林は表部門だけよく把握しているつもりです。一部国有林の職員でなければ行けないところ、また裏木曾の土砂崩壊場所などこんな斜面もあるんだというところ(山造りにお金を投じているんだ…)などです。
- 林業に関する若い方も大勢いらっしゃると思うが、人手不足で今後のことや、災害が多発するこの国にあって、森林のあり方や保護について、もっと皆にわかりやすく知らせていくことが大切と思った。(特に幼少の子どもたちから)
- 赤沢自然休養林の国有林へ入れる体験がよかったです。
- 治山事業の現場に行ったことが一番記憶に残りました。日々国土を守るために頑張っていてくださる仕事だというのがよくわかりました。これからは木育とかSDGsの関わることも知りたいと思いました。



- 近くに国有林があることを、知りませんでした。機会があれば、ぜひ行きたいと思っています。
- 林野庁の方が描いている漫画とゆるキャン△とのコラボで林野の紹介をしていた資料。
- 一番記憶に残っているものは、現地説明会です。森がはぐくむ文化についての情報があればと思います。
- 現地説明会がとても良かったです。送られてきた資料も、職員の方々がけん命に仕事をされていることとと思いました。また、説明会で、職員さんの名札が「木」のプレートだったのがとても印象に残りました。
- 国有林と国立公園の双方とまたがる行政をもう少し知りたいと思っていました。国民の多くは、同じ 機関が、関与していると考えている(私もかつてそうであったように)のではないのでしょうか。
- 森林官便りを読むたびに、「仲間になりましょう」と書いて(呼びかけて)いましたが、実際は狭き門なんだろうなあ、と思います。国有林応援隊?ボランティア?など関わりたい人が関われる仕組みがあったらいいなあと思いました。輸入材は高騰していて、日本は材木/森林活用は不十分です。整備・治山は勿論大切ですが、木材の活用ブランド力を高めたり、アイデア・活用次第で潤う産業だと思っています。日本林業の復活を期待しています。
- 木曽は木材の集散地であり、生活と林業が近いと感じた。また木材を多用した庁舎は素晴らしいが、ある意味贅沢な施設とも思った。そう思うことが木の活用が進んでいない課題であり問題点でもあると思う。
- 現地説明会が、普段同じモニターをしている人と会え直接話す事も出来良かった。こういった機会が、もっと増えると良いと感じた。
- モニターとしての主な活動が、送られてくる資料に目を通すことただだけに、一番記憶に残るのは、現地説明会です。
- 現地説明会で訪れた木曽・中津川です。管理されている国有林を間近で見て、触れ、何 10 年何 100 年という大きな単位で育てられている木が活用されていく様子。山奥で、人知れず災害を防ぐために、工事されている方々。訪れてみないと、機会がないと、知るこのできないことばかりでした。
- 現地説明会は有意義でした。「百聞は一見に如かず」の通りです。「国有林おさんぽ MAP」はこれから利用して森林や木材に理解を深めます。



2 その他

- 森林整備のボランティア活動をしたいので、各地域で行われるイベントや参加募集等の情報を発信して欲しい。
- 国有林の良さを知って頂く為、国有林内の滝等を見学出来るよう整備して頂きたい要望します。国有林や中部森林管理局の活動をメルマガにして配信していただければ有り難く思っています。
- 国有林が CO2 を吸収している規模をアピールしていただきたい。森林が持つ価値を多くの人に知っていただき、森林を大切に育てる意味が大きいと考えます。

- もっと森林に親しむイベント(←許可)、体験、不用木材の配布等、国民に開かれた行政にしてほしい。個人的な希望ですが…①管理局の方がオススメの(散歩 or 登山)スポット(共に愛知・岐阜)この2点を発信して欲しいです。②はそういえば、情報誌で以前長野かどこかにオープンとあったかも知れません。②木のおもちゃで遊べる場所。
- 民有林が荒れているらしい。自然災害による森林への被害改善のためにも、民有林所有者への指導・啓発をお願いしたい。
- 職員の皆さんが山造りの努力とか地味な仕事振りに感謝しています。また、うまい空気(酸素)を吸い込み、うまい水を生み出し、洪水を防止して、国民に癒してくれる国有林造りに期待しています。また、今回のような機会があれば参加したいです。
- 生物多様性に富んだ国有林を後世に残していただきたい。
- 一般の募集で見学会などがあると理解が深まるのかなと思いました。
- きれいな手作りカレンダーには、感激しました。携わる方の、暖かさも感じられました。
- 森林や林業についての魅力をどんどん発信してほしいと思います。また、ストリートビューでの岐阜県や長野県の森の紹介がありましたが、閲覧できる地域が増えることを期待しています。地球温暖化により昨年の異常高温の夏や集中豪雨など、森林に影響が出ていると思います。富山県においても雪が少なくなったことと相まって、一時期いなかったシカやイノシシの数が増加しています。また、クマの出没についても、一因がブナの不作にあると聞いています。森林と野生生物や人とのかかわりなども紹介してほしいと思います。

先日、陸貝が紹介されているサイトを探していたら、他局の森林の生き物達を見つけました。陸貝が写真で紹介されていて、森の生き物として陸貝が認識されていることに好印象を持ちました。中部森林管理局にもカラマツのよい写真が撮れる場所など行ってみたいと思わせる情報があり、行ってみたいと思わせる内容です。できれば、その森の生き物についても、森林管理局の方でないで撮れない写真で紹介していただければと思いました。

- 日本では、少子高齢化で、少しずつ人口が減少していますが、畑や田んぼ、あるいは居住地が、「山」に(自然な姿)かえていくのもやむを得ないと思います。人間と自然が、うまく共存できていけたらいいなと思います。(山に住む動物も大切に思います)
- 森林が占める割合が多い我が国ですが、その恩恵や森林そのものを、日頃から感じている人は、限定されるのではないかと思います。皆さんに少しでも意識して欲しいです。
- 国有林行政と国立公園行政との関係(連携)をもっと広報していただけると良いと思います。あと、居住地に関係しますが、松枯対策、クマとの共生(サルも)等、住民の協力を得ながら、課題解決に取り組んでいただきたいです。
- モニターをしなければ経験できない現地説明会、カレンダーやほかのいろいろな資料大変ありがたいです。
- モニターとしての参加だけでなく、一般の人が参加できる、森を知る森で遊ぶイベントなどあるといい。まずは遊びに来て知ってもらおう、というのが大事かと。心をこめて未来に残す森林のお手入れに一生懸命に取り組む皆さんの仕事をもっとアピールして知ってもらいたいから。「お金」を出して人工のモノ、空間で遊ぶよりも、自然の中での遊びは楽しい、そんな人が増える、そんな人を増やしてほしい。それをマネタイズできれば、森林保全の資金にも充てられる。



- 個人所有の山林は、維持管理ができずに放置されている場所も多いと思います。また、その場所さへ知らずにいる人もいないでしょうか。各地にある森林組合の管轄がもしもありませんが、ドローン等で撮影したものを希望する所有者に配布できるようなことはいかがでしょうか。日本の国土のほとんどが森林であり、国有林の占める割合も大きく、その仕事の範囲の広さに頭が下がります。今回の能登半島地震でも、多くの場所で土砂崩落があり、地域住民の生活を守る取り組みも大切な仕事であることを再認識しました。
- 月刊情報誌「林野」:令和4年10、11月号及び令和5年2、5、9月号は印象深かったと記憶しています。登山やトレッキングを趣味としている立場としては月刊情報誌「林野」:令和4年9月号及び令和5年8月号が良かったです。
山と市民が直接ふれあうことが出来る要素が詰め込まれていました。